

2019 年度石油連盟 油流出ワークショップの概要

名 称：油流出ワークショップ

「東南アジアにおける油濁対応体制の発展」

日 程：2020 年 2 月 14 日（金）

場 所：経団連会館 2 階 国際会議場

東京都千代田区大手町 1 - 3 - 2

開催の目的：

石油連盟は、「東南アジアにおける油濁対応体制の発展」をテーマに、第 8 回油流出ワークショップを 2020 年 2 月 14 日（金）に開催する。

油濁対応に関する戦略は、エクソン・バルディーズ号事故（1987）、湾岸戦争による油流出（1991）、ナホトカ号事故（1997）、メキシコ湾原油流出事故（ディープウォーターホライズン、2010）等の大規模油流出事故から学んだ教訓に基づいて、発展を続けている。本ワークショップでは、実際の対応、現場での助言、規制およびベストプラクティス等の分野および最近の大規模油流出事故について、豊富な経験を持つ専門家の話を聞く。特に、東南アジア地域内で利用可能なソフトとハードの業界内での発展に焦点をあてる。また、2019 年 7 月から 9 月にかけてインドネシアの首都ジャカルタに近い、ジャワ海で発生した大規模油流出事故の詳細について聞く。この事故は、国内および海外両方のリソースを動員した大規模流出で、海岸線に近い比較的浅瀬の部分で特有の課題を示した。講師は、既存のリソースを強調するだけでなく、地域で効果的な対応を行うための将来計画も説明する。

講演終了後には、参加者と講演者が自由に討議するためのセッションを設け、質疑応答の他、講演で提起された問題の理解を確認し、掘り下げる。

言 語：日本語、英語 同時通訳

主 催：石油連盟

事務局：石油連盟 安全管理部 油濁対策室

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 - 3 - 2 経団連会館

T E L : 03-5218-2306

F A X : 03-5218-2320

当日のプログラム：

09:45	受付開始
10:20	開会挨拶
10:30	来賓挨拶
10:40-11:20	講演①
11:20-12:00	講演②
12:00-13:30	昼食
13:30-14:10	講演③
14:10-14:50	講演④
14:50-15:10	休憩
15:10-16:00	講演⑤
16:00-16:30	総合質疑
16:30	閉会

講演予定組織

- ・ 国際石油産業環境保全連盟 (IPIECA)
- ・ 国際タンカー船主汚染防止連盟 (ITOPF)
- ・ Oil Spill Combat Team Indonesia (OSCT)
- ・ 国際油濁補償基金 (IOPCF)
- ・ Oil Spill Response Limited (OSRL)

※講演予定組織は変更の可能性があります。

※講演時間は講演者1名につき約40分間を予定しています。

※最新の詳細スケジュール、講師情報については、ホームページをご確認ください。

<https://www.pcs.gr.jp/p-kokusai/index.html>

以上